巻頭特集

デ・レーケ記念交流レガッタ

静かな河川空間で深まる地域の絆

長良川の清流域を利用して、毎年秋に開催される「デ・レーケ記念交流レガッタ」。選手や地域の住民が1日がかりで、ボート競技や地域交流を楽しみます。

オランダ人技師の功績を後世に伝える交流大会

岐阜県海津市の長良川国際レガッタコースで開催される「デ・レーケ記念交流レガッタ」は、毎年600人以上が参加するボート競技の大会です。24回目を迎える今年は、9月8日に開催。会場となる長良川流域の桑名市、愛西市、海津市の3市を中心とした実行委員会を設置し、各市が2年ごとに持ち回りで事務局を担当します。

「大会の前身は、木曽三川改修事業に尽力したオランダ人技師デ・レーケ氏の生誕150年を記念して開催された平成4年の『第1回全国選抜競漕大会』です。この大会が発展し、『木曽三川交流レガッタ』が開催。デ・レーケ氏の功績を後世に伝えるため、秋のレガッタ大会に現在の名称がつけられたのだと聞いています」と、事務局で大会運営を担当する桑名市役所市民環境部の担当者は大会の成り立ちを話します。

息の合ったチームワークが試合の行方を左右

本大会は、500メートルの直線コースで速さを競う団体競技です。チームは、舵取り役を担うコックスと4人の漕ぎ手で構成。漕ぎ手は左右2人ずつに分かれ、オールを漕いでゴールを目指します。水を大きく掻くことで推進力をアップさせるほか、息の合ったチームワークが試合を左右するといいます。「デ・レーケ記念交流レガッタ」は、年齢や性別ごとに種目が分けられ、予選から決勝まで1日がかりで行われます。組み合わせは、昨年の上位チームや同じ地域のチームが重ならないように調整され、地域交流としても楽しめるよう配慮されています。「一番の見どころは、大会クライマックスの成年男子の部。参加者が多く、最も迫力とスピードのあるレースを楽しめます」。

会場となる長良川国際レガッタコースは、全体を見渡す判定塔があり、名古屋駅や中部国際空港からもアクセス良好で、国際大会も開催されます。また、コースを併設する長良川サービスセンターには、更衣室やシャワー、飲食コーナーなどの設備が充実しています。

「デ・レーケ記念交流レガッタは、競技よりも交流に主きをおいていますので、多くの人に楽しんでもらいたいです」。初心者でも大会を楽しむことができるよう、大会前にはレガッタ講習会を開催。艇を操作する方法などをレクチャーしてもらえます。また、今大会からは利便性を考慮し、レース結果をインターネット上で確認できるシステムを導入。プログラムに印刷されたQRコードでアクセス可能です。

「ボートは誰でも気軽に楽しむことができる競技です。これからは、流域3市だけではなく、その他の流域市町村にも声を掛けながらより多くの人にボートを楽しんでもらいたいです。大会当日は、レースの他に、仲間とともにお弁当を食べたり軽スポーツをしたり、それぞれの楽しみ方で過ごせます」との言葉通り、「デ・レーケ記念交流レガッタ」は、競技を通して、地域交流の場を創出しています。

創部から約10年「長中47」過去には全国大会に出場も

大会出場を控え、練習に汗を流すのは、「長中47」のメンバー。平成20年度の「デ・レーケ記念交流レガッタ」熟年男子の部で優勝を果たしたほか、国内各地の大会にも出場しています。

創部は今から約10年前。「メンバーのほとんどがボート未経験。水上の練習だけでなく、マシンを使った体幹トレーニングなどにも取り組んで大会に挑みました。そしたら、初出場で優勝してしまって。すっかり魅力にはまってしまいました」と長中47の代表で、桑名ボート協会会長の樽谷行雄さんは微笑みます。これまでの最高位は、第24回全国市町村交流レガッタ津幡大会（平成27年）での準決勝進出です。

進行方向から、1〜4番手、コックスの順に着席。4番手のリズムに合わせて皆がオールをこぎ、1番手は、全員の動きを調整する役割を担います。「技術の高い人がいても、4人の息が合っていないとダメ。艇がまっすぐ進まないんです。チームワークこそが競技の魅力ですね」と、樽谷さんは話します。

活動時期は、真冬を除く3〜11月。月に数回、長良川国際レガッタコースに集まり、練習に励みます。「デ・レーケには、東海地区から100を超えるチームが出場します。強豪が出場することもあって、レベルが高い。出場するからには、優勝を狙いたいですね」と抱負を語ります。

私たちと一緒に、ボートを楽しみませんか？
(対象は、高校生以上)
(問い合わせ)
☎090-2573-0662
(桑名ボート協会)
(メールアドレス)
csy-1960@m4.cty-net.ne.jp

ピンクのユニフォームは大成小町、水色は長中47のメンバー。ともに、桑名ボート協会に所属する。協会には、高校生から70歳までの男女が集まる

長中47の代表
桑名ボート協会会長
樽谷行雄さん

毎年5月に開催される「木曽三川交流レガッタ」と9月開催の「デ・レーケ記念交流レガッタ」。「デ・レーケ記念交流レガッタ」は、「木曽三川交流レガッタ」に比べ出場チーム数が多く、強豪も集まる

第24回デ・レーケ記念交流レガッタ

〈開催日時〉令和元年9月8日(日)
開会式7時20分、レース開始7時半

〈開催場所〉長良川国際レガッタコース
(海津市海津町金廻地先)

〈ウェブサイト〉http://kisosansen-regatta.jp/

〈問い合わせ〉TEL:0594-24-1251
(桑名市生涯学習・スポーツ課 スポーツ振興・国体推進室)

〈実行委員会構成メンバー〉
国土交通省木曽川下流河川事務所・桑名市・愛西市・海津市・独立行政法人水資源機構長良川河口堰管理所・一般社団法人中部地域づくり協会・木曽三川公園管理センター・株式会社CBCクリエイション

長良川サービスセンター

長良川サービスセンターでは、長良川の自然に親しみ、水辺を利用したスポーツやレクリエーションを楽しむことができます。無料のトレーニングルームや、芝生広場があるほか、4月6日(土)〜10月22日(火)までの土・日・祝日には、カヌー体験を開催しています。

〈受付〉10:00〜16:30(受付は15:30まで)
〈カヌー体験料〉1人1回500円(1時間)
〈問い合わせ〉TEL:0584-54-2075
(長良川サービスセンター)
〈ウェブサイト〉http://kisosansenkoen.jp/

文／中村恵里子　写真／木曽三川交流レガッタ実行委員会提供・D-studio　デザイン／chica